

平成 23 年 9 月 26 日

## 復代理に関する FNLIA の考え方

この意見は、保険会社が復代理人に業務の一部を委託することを許容するとの日本損害保険協会の提案にかかわるものである。

この提案が認められた場合には、保険会社グループが、グループ内の他のすべての保険会社の代理店となる会社を創設あるいは既存会社を改組し、個々の保険会社と締結している既存の代理店委託契約をグループの新たな代理店（「グループ代理店」）に移行することが可能となるものと、理解する。この再編成により提案を支持する保険会社に二つのメリットがあると考えられる。

1. グループ代理店がグループ内の保険会社のための様々な業務を行うことによる効率の改善と経費の削減
2. 募集・商品販売網の合理化—すべての保険会社がグループ代理店に募集を委託することで、復代理店はグループ代理店を通じてグループ内の保険会社のすべての商品にアクセスすることができる。（現状では、乗合により個々の保険会社と契約しなければならないであろう。）

外国損害保険協会の会員は、開かれた市場と自由な競争を支持するものであるが、提案はこれらの原則に従うもので、反対するものではない。

この問題に関して会員に対して行ったアンケートの結果では、少数の会員が代理店の利用に関して競争上不利になると感じていることが判明した。しかし、大多数の会員は、提案に対して反対しないあるいは積極的に支持するとの態度であった。会員に残る躊躇や懸念は、次に述べる対応をとることで解決できると考える。

- 上記 1. に関して、効率の改善と経費の削減は、現行制度の下でも、代理店登録を要さずに、グループ内の 1 会社が他のグループ会社にもたすことができる。
- 上記 2. に関して、これは乗り合いの手続きを廃止する当然の機会であると考えられる。1 社以上の代理をしたい独立代理店に、他の保険会社の承認を求めるのは、自由な市場における自由な競争の原理にそぐわない。日本損害保険協会の提案は、認められると、保険会社グループの販売構造を強化することが可能となり、すべての復代理店を通じて、グループ会社のすべての商品を販売することが可能となる。他の保険会社が独立代理店に接近することを妨げる規制や手続きは明らかに不公平であり、不公正である。当協会は、代理店の乗り合い（承認）手続きの廃止を強く求めるものである。
- 提案が通った場合、復代理店網を持った中心となるグループ代理店が創設されることが予想される。グループ代理店とその復代理店の管理や教育に関する責任の所在に関する

透明性が必要である。ワーキンググループでは既に、銀行復代理店を規制するために採用されている許可制度を検討されたと理解している。当協会は、保険会社に事務面での大きな負担とならない範囲で、許可制は適切な監督を提供する方法であると考えている。

以上